

備えあれば憂いなし

総合防災訓練は

9月3日(日)に

実施します



昨年の防災訓練の様子

九月一日(防災の日)を中心とした八月三十日から九月五日までは、「防災週間」です。

土砂災害、地震災害などから身の安全を守るため、普段から災害に対する備えを心がけましょう。

都留市では、「総合防災訓練」を九月三日(日)に実施します。市民の皆さんは、自主防災会、職場などで訓練を実施する場合は積極的に参加してください。

〈メイン会場〉 宝小学校校庭

〈土砂災害から身を守る〉

土砂災害は、次のような現象の直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、関係機関に連絡してください。

○山鳴りがする

○川の流れが濁り、流水が混ざりはじめる

○雨が降り続けているのに川の水位が下がる

○小石がバラバラ落ちてくる

○沢や井戸水が濁る

○斜面から水がふきだす

※連絡先

都留市役所 ☎(43) 1111

都留土木事務所 ☎(45) 7815

都留市消防本部 ☎(43) 2341

近くの消防団

〈地震災害から身を守る〉

大きな地震が来たときは、次のようなことに注意して行動してください。

○まず落ち着いて身の安全を確保する

・机やテーブルに身をかくす
・非常脱出口を確保する
・あわてて外に飛び出さない
○あわてず冷静に火災を防ぐ

・地震！すばやく火の始末をする
・火が出たらまず消火をする
○狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない

○避難のテクニック
・避難は徒歩で、持ち物は最小限にとどめる
・山崩れ、がけ崩れに注意する
○正しい情報入手する

・市役所、消防署などの情報に注意する
・テレビ、ラジオの報道に注意する
・デマにまどわされない
・不要、不急な電話は、かけない
○協力しあって救出、救護をする

・軽いケガなどの処置は、地域ぐるみで助け合う
○自動車の運転中は

・道路の左側か空地に停車、エンジン止め
・ラジオなどで災害情報を聞く
・避難するときは、キーをつけたまま徒歩で避難する

〈普段の対策〉
被害の未然防止と被害の軽減を図るため、次のことを心がけましょう。

○防災訓練
自主防災会などの防災訓練には積極的に参加し、防災行動力を身につける。

○家庭での防災会議

普段から防災について話し合い、次の項目を確認しておく。
・家のまわりの危険箇所の確認
・避難場所、避難経路の確認

・家族間の連絡方法、おちあい場所
・幼児や高齢者の避難責任者
・非常持出品の点検と置き場所の確認

・消火器の使い方と置き場所の確認
・家具などの転倒、落下防止対策
・家の内外の安全確認

○家の補強
柱、土台、屋根瓦などの点検
(できれば建物の耐震診断を受けましょう)をして、強度が不足している箇所は補強する。

○ブロック塀、石塀の補強
鉄筋が入っているか、転倒防止の控壁を設けているかを確認し、必要な対応をする。

○家具などの転倒、落下防止
トメ金などで固定しておく。

○消火器などの備え
消火器や三角バケツなどを用意しておく。

○非常持出品の準備
避難場所での生活に最低限必要なものを用意しておく
・2、3日分の食料、飲料水などを備蓄しておく



“平和を祈念し黙とうを”

原爆パネル展開催

8月6日及び9日は、原爆の日です。

都留市は、昭和57年10月市議会の議決を経て、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、核兵器の全面廃絶と軍備縮小を求め、「核兵器廃絶平和都市」を宣言しています。戦争死没者の冥福を祈り、世界の恒久平和を祈念して、次の事業を行います。

○原爆パネル展

YLO会館1階ロビー
8月6日(日)～15日(火)
午前8時30分～午後5時

○平和祈念の黙とう【防災無線で呼びかけます】

広島原爆の日
8月6日(日)
午前8時15分

長崎原爆の日
8月9日(水)
午前11時2分

終戦の日
8月15日(火)
正午

